

# 2021年度3月りす組だより

社会福祉法人尚徳福社会 生麦保育園

真冬の寒さの中、時折暖かい風が混ざるようにってきました。コロナ禍でも着実に季節は春に向かって動き出しています。後わずかで、子どもたちはうさぎ組に進級します。「ぼくは(私は)大きくなったから、うさぎ組さんに行くんだー。」と話す姿がよく見られるようになりました。不安な気持ちを持たず、期待に胸を膨らませて、ワクワクしながら進級できるようにしていきたいと思います。

## 楽しいお雛様制作



初めてハサミを使い、お雛様の着物になる千代紙を短冊にして、パチンと一回切りしました。怪我の無いよう保育者が一対一で付き、ハサミに指を通す所から始めました。意外だったのはハサミを開いたり閉じたりする動きがとてもスムーズだったことです。もしかしたらご家庭で一緒にやったことがあるのかしら？全員が興味と関心を示し、集中して活動することができました。その後ののり付けはみんな上手！指がのりだらけになることなく、人差し指にチョンと少しだけのりを付け、切った千代紙の裏に薄くのりを伸ばして貼り付けました。顔の表情はシールを貼って仕上げました。とても個性豊かなかわい作品が仕上がりました。



## うさぎ組に向かって。

子ども達の遊びも最近は様変わりしてきました。何をやるにも友だちを意識して、「入れて。」と声を掛けることが増え、だまって一人あそびをすることがなくなってきました。ハードル跳び等順番を守って並んで待つ姿も見られます。トイレなどの生活習慣も見守られて自分で進んでいけるようになって来ています。褒められ、うさぎ組になることをとても楽しみにしています。

## おたのしみ会に参加しました。



2月15日にきりん・ぞう組主催のおたのしみ会がありました。りす組は招待していただき、スタンプカードを袋に入れて何人かのグループで買い物に出かけました。入り口に入って、「いらっしやいませー。」と声を掛けられるとちょっと緊張気味！お寿司屋さんの前で固まっていたのですが、「カード出して。」と声を掛けられ、スタンプを押してもらい、お寿司と焼きそばのバックを袋に入れてもらうと袋を覗き込み嬉しそうでした。それから、各お店へ行ってはスタンプを押してもらい、商品を受け取り袋は少しずつ膨らんで行きました。最後は、ゲームコーナーへ。ワニの口の中にボールを入れませんが、中々入りません。それよりもワニが気になり、裏方へ行きワニを触って止められるハプニングもありました。輪投げゲームは一人3回。意外と上手に入れていました。部屋に帰ってリンゴジュースを飲みました。その後買ったお土産を広げ、食べる真似をして楽しみました。



一年間ご理解、ご協力いただき

ありがとうございました。